



9月22・23日の日程で、水内総社日吉大神社の秋季例祭「秋祭り」が行われました。

新型コロナウイルス対策で、子供神輿の奉納などは今回も見送られました。北中区による神楽奉納は、あいにくの雨模様の中にもかかわらず無事行われました。



3年ぶりに復活した屋台

やはりコロナ対策でこの二年間実施を自粛していた屋台や花火大会も復活し、

### 見学者を魅了 秋祭り文化展

栗田公民館文化部長

山崎 和之

まだまだコロナ禍ではありませんが、感染防止対策をした上で、9月22・23日の「日吉大神社秋季例大祭」に合わせて、「秋祭り文化展」が開催されました。

今年も区民の皆様から数多くの作品を出展いただき、ありがとうございます。ルンビニ幼稚園の年中・年長園児による絵と習字、小学生による防犯ポスター、児童・生徒による書道を始め、一般の方からも書・絵

9月22日の宵祭りの境内は、家族連れや小、中学生らのグループでにぎわいました。

画・陶芸・生け花・俳画・写真・手芸品など、日頃から心を込めて制作した作品が展示され、ふれあい会館を訪れた方々を魅了していました。

また、社殿拜殿において、舞踊サークルの皆様による踊りが奉納されました。厳かな祭事の中、気品のある舞いを披露いただきました。最後になりましたが、ご来場・ご協力いただいた皆様方に心から御礼申し上げます。

■3面の写真グラフもご覧ください。

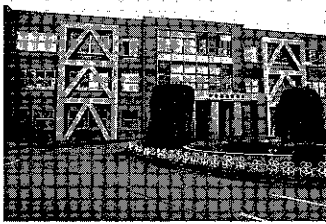
### 栗田の風景④

## 中部森林管理局

林野庁中部森林管理局は栗田の住民にとり、地域のシンボリック的存在と言えるのではないのでしょうか。同管理局は現在、富山、長野、岐阜、愛知の4県の国有林の管理、経営を行うほか、

林業および木材産業の育成発展を業務としています。同管理局の前身・長野営

林局が福島町（現木曾福島町）から移転、完成したのは1955（昭和30）年。翌年9月に落成式を行っています。庁舎は鉄筋コンクリート3階建てで、当時の新聞は「栗田の畑の中に出



基本的に建物は創建当時のまま

現した堂々たるビルディング」と紹介しています。庁舎前の東通りも未舗装で、ボンネットバスやトラックが土ぼこりを上げながら行き交う時代でした。

移転当初の長野営林局の管轄は長野県のみでしたが、1999（平成11）年、中部森林管理局に改組し、旧名古屋営林局管内の富山、岐阜、愛知県が管轄区域に入りました。4県の国有林面積は計約65万ヘクタール（うち長野県は37万ヘクタール）にのびります。

同管理局の庁舎は、70年近くの歴史の中で、耐震工事や補修をたびたび行ってきましたが、基本的には移転当時のまま。木材の可能性が再び広がりがつつある今、中部地区の林業発展のかなめとして、業務を支えています。